

平成28年3月17日

那須烏山市議会議長 佐藤昇市様

文教福祉常任委員会委員長 沼田邦彦

予算審査結果報告書

本委員会に平成28年3月8日に付託された事件は、審査の結果、次のとおり決定したので、那須烏山市議会会議規則（平成17年那須烏山市議会規則第1号）第109条の規定により報告します。

- 1 審査期日 平成28年3月11日（金）及び14日（月）
- 2 審査場所 那須烏山市役所 南那須庁舎 第2委員会室
- 3 出席委員 沼田邦彦、滝口貴史、矢板清枝、樋山隆四郎、中山五男、小森幸雄
- 4 説明のための出席者
市民課長 佐藤加代子、健康福祉課長 網野榮、こども課長 齋藤進、
学校教育課長 岩附利克、生涯学習課長 佐藤新一、文化振興課長 両方裕
他関係職員
- 5 審査事項 本委員会の所管する市民課、健康福祉課、こども課、学校教育課、生涯学習課、文化振興課の平成28年度那須烏山市の一般会計及び特別会計の歳入歳出予算
- 6 審査結果 本委員会が付託を受けた一般会計及び特別会計の予算については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。ただし、次のことについて要望し、意見を付することとします。

各課横断的なもの

- ・関係機関との連携を強化し、市民の健康増進、疾病予防に繋がる施策である特定健診・ガン検診事業、健康増進健康づくり事業、こどもの健診事業などの推進にさらに尽力され、医療費増大の抑制に努められたい。

市民課

- ・国民健康保険特別会計は、加速する高齢化の中、被保険者数の減少及び所得水準の低下による歳入減のマイナス要因により、一般会計からの繰入れに頼る厳しい運営となっている。財源確保に努められるとともに引続き健全運営を図られたい。
- ・熊田診療所においては、近年、疾病予防や健康増進など地域交流活動を展開されているようだが、さらに地域医療の拠点となりうる地域に根ざした経営に努められたい。

健康福祉課

- ・新しく始まる介護予防・生活支援サービス事業においては、万全の体制で取組まれたい。

こども課

- ・保育士の確保が全国的に困難になっており問題となっているが、本市においても嘱託職員でなんとか人員を確保し運営している状態である。今後の

運営に支障をきたすことの無いよう計画的な正職員の確保に努められたい。

学校教育課

- ・文武両道教育支援推進事業の中のスーパーティーチャー育成事業では市内小中学校の教員を教育指導の成果をあげている先進地で研修させ、本市の状況との比較、調査分析を十分に行うことで、指導者となるスーパーティーチャーの育成と児童・生徒の学力向上に資されたい。
- ・中学生海外派遣事業は、生徒が貴重な体験を得ることのできる事業であるが、本市の事業としては実施から10年を経過し見直しをする時期であるとする。今までの成果及び反省をもとに、視点を変えて調査研究し、よりよい事業になるよう取組まれたい。
- ・英語教育推進事業では、事業の成果、状況についての調査結果を迅速に反映させ、改善している点は評価できるものである。現状を常に把握し要不要を見極め、今後も継続的に事業の改善を行うことで、児童・生徒の能力向上に努められたい。

生涯学習課

- ・那須烏山市武道館の整備については、来年3月の完成に向け遺漏の無いようしっかりと進められたい。併せて旧南那須武道館の跡地整備の調整を速やかに行い、未だに支出されている賃借料などの経費の削減に努められたい。
- ・逼迫する市の財政状況を鑑みると、今後の施設等の使用については受益者負担が必要と思われる。使用状況その他現状を調査分析し、施設使用の有償化、使用料の改定について検討されたい。

文化振興課

- ・烏山の山あげ行事のユネスコ無形文化遺産登録が、平成28年11月に予定されている。まずは今年度の山あげ行事の成功に向け努められたい。また、これを好機と捉え、関係機関との連携強化を図った効率的なPR等を行い、重要課題である山あげ行事の存続、継承についても引き続き尽力されたい。
- ・長者ヶ平官衙遺跡、烏山城跡の整備については、将来を見据えた計画をたてるとともに、それに基づいたしっかりとした対応を期待する。

